

# げいじゅつかかくさまやよい 芸術家 草間彌生



ちい  
小さいころから、  
はな いぬ  
花や犬が、  
ひと ことば はな  
人の言葉で話しかけてきたり、  
はいいいろ  
灰色のカーテンにかこまれる  
くる  
まぼろしに苦しみます。  
きょうふ  
そうしたおどろきや恐怖を  
まいにちえ こころ  
毎日絵にかいて心をしめていました。



せんそう 戦争がおわって、絵の学校に行き、

え ますますいろいろな絵を  
かくようになりました。



やま 山のむこうには

せかい どんな世界がひろがっているのだろうか。

みち せかい 未知の世界へのあこがれと、

じゅう こうだい せかい もっとかぎりなく自由で広大な世界で

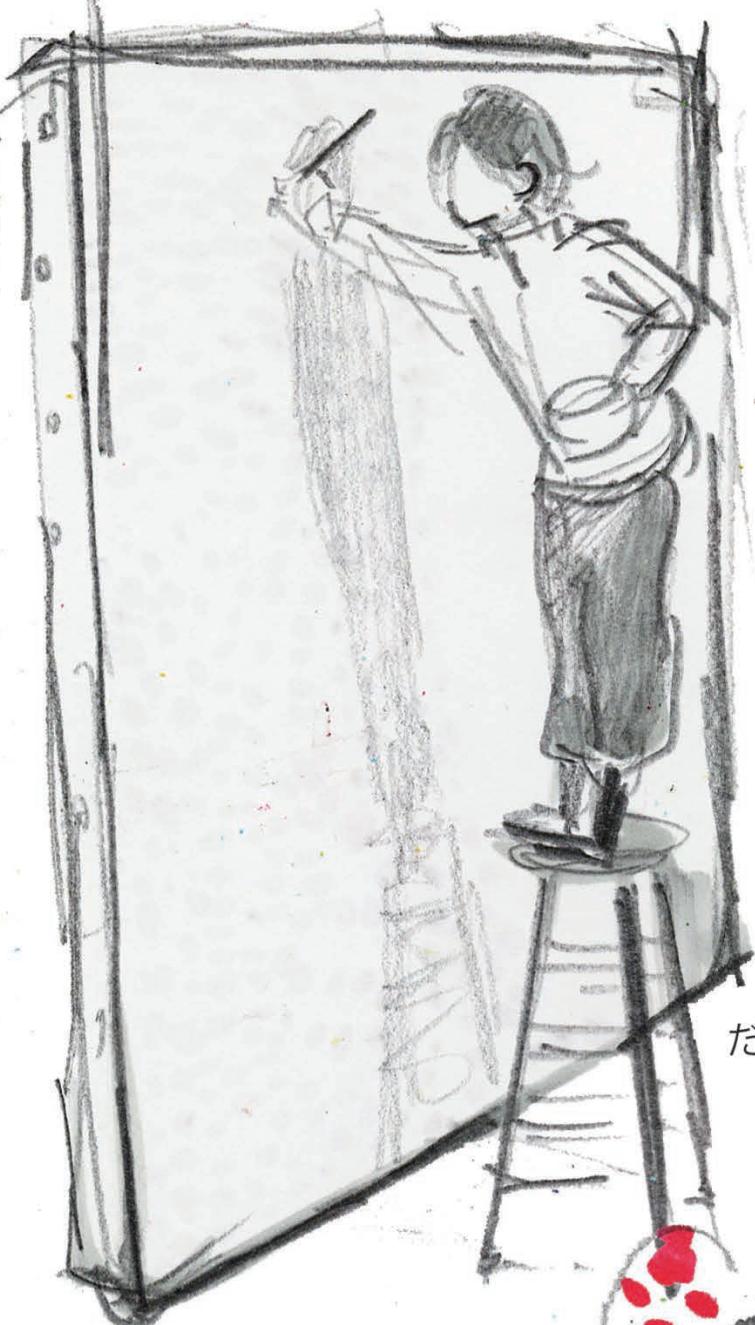
じぶん げいじゅつ おも 自分の芸術をつくりたいという思い。

そのころはまだ、

じゅう がいこく い じだい 自由に外国へ行ける時代ではありませんでしたが、

おお きぼう むね たびだ 大きな希望を胸に、アメリカへ旅立ちます。

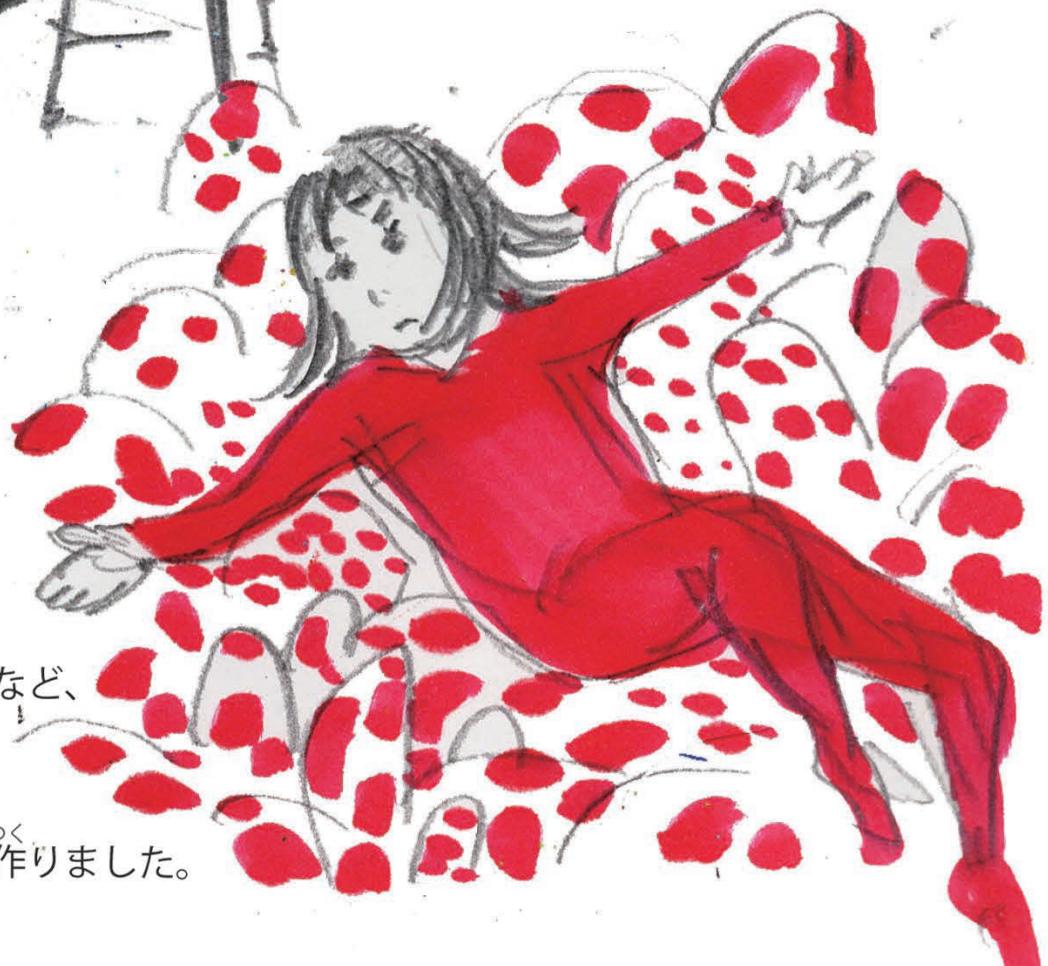




ニューヨークで部屋を借りて、  
くる日もくる日も絵をかきました。

10メートルもある  
大きな真っ黒いキャンバスに  
貝がらのように小さな白い丸が  
いちめんに連なったあみの絵を  
かいて発表しました。

中心もはじまりもおわりもない  
白いあみの絵に、  
ニューヨークの人々はびっくりぎょうてん。  
だれの絵ともちがう絵は、評判になりました。



やわらかい彫刻や

無限の鏡の部屋、

はだかのパフォーマンスなど、

つぎつぎと新しい芸術を作りました。

ねん え ちょうこく  
あれからもう 60 年。絵や彫刻だけでなく、

し しょうせつ えいが  
詩や小説、映画にファッショ n、あたら ちょうせん  
新しいものにいつも挑戦しています。



まいにち げいじゅつ かんが あさ ばん つくつづ  
毎日、芸術のことだけを考えて、朝から晩まで作り続けています。

これまで作った作品は世界中で

たくさんの人々見てもらいました。

いま  
そして今、

いつでも作品が見られるように

くさまやよいびじゅつかん つく  
草間彌生美術館を作りました。



み き 見に来てくれてありがとう。